

## 避難 避 域 広

### 北川辺地域の避難計画の整備は

及川 和子 議員

答弁…広域避難は、シミュレーション等も重ねていく必要がある、栄・火打沼避難場所は、命を守る意味で、有効活用していく場所にしていかなければならないと考えております。

及川 広域避難時におけるバス事業者との協定を結び、市全体で広域での洪水避難訓練を行いました。この広域避難を安全にしっかりと行うことが、全ての市民の安全につながる大事なことであり、考えます。今回の輸送訓練をもとに、より詳細なシミュレーションを早期に行うことが必要です。また、栄・火打沼避難所に投光器や簡易トイレ、水などを備蓄できる備蓄倉庫の設置を国と結ぶ管理協定の中に盛り込むように進めていただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

市長 今回、広域避難訓練を実施したことは、北川辺地域の皆様に広域避難が必要であるということを知っていただく意味

## 整備 排水路 基幹

### 大利根地域の基幹排水路の整備促進について

松本 英子 議員

答弁…今後も大利根地域の浸水被害の解消については、市と土地改良区とが一緒に頑張ってしっかりと努力を重ねてまいりたいと考えております。

松本 大利根地域には稲荷木落排水路と十王堀排水路の二つの基幹排水路があります。この二つの排水路を整備することにより、大利根地域の浸水被害を解消することができ、ます。稲荷木落排水路の整備については、計画どおり工事を進め、今年度の事業費（2億円）同様の予算を毎年確保し、5年間で事業を完了することが出来るよう、予算の確保を国・県に要望していただきたいと思います。

次に、十王堀排水路改修については、国の補助事業として早期に事業化されるよう、国・県への要望活動を強めるよう提案しますが、考えをお伺いします。

市長 稲荷木落排水路に

## 事業 健康 保

### 市民のいのちと健康を守る 保健事業について

佐伯 由恵 議員

答弁…専門グループがどの地域であっても、日程を調整し、対応する体制は整ってまいりました。今後も保健業務の適切なあり方については、常に検討してまいりたいと考えております。

佐伯 第2次健康づくり推進計画の策定に当たり、健康意識調査が実施されました。その結果から、市民の生活習慣を改善し、健康意識の醸成を図ることの重要性を感じました。きめ細やかな生活習慣予防の保健指導、健診の重要性と普及啓発、食生活改善の栄養指導、情報の提供などが調査結果の市民の声から、もっと必要なのではないか、もっときめ細やかな保健指導が必要ではないかと受け止めました。

市民のいのちと健康を守るため、保健師等が地域に出向き、よりきめ細やかな保健指導を行うための体制づくりが必要だと思いますが、考えをお伺いします。

市長 これまで保健センターの望ましいあり方について、検討を重ねてまいりました。その結果、4月から、事業ごとに保健師等の専門職を集中的に投入し、地域地域に向い、地域地域に合った形で採用しました。この形により、専門グループがどの地域であっても、日程を調整し、対応する体制は整ってまいりました。この形で、市民ともども保健行政がスムーズに展開され、その効果がきちんと反映できるように地域になることを願っています。

保健業務の適切なあり方については、今後も常に検討してまいりたいと考えております。